



NPO法人総合福祉サポートセンターはだの

3 2 9 4

みんが ふ く し



例年より、2日早く梅雨が明けました。秦野には、まとまった雨が降らないまま夏本番となりました。熱中症には十分にご注意ください。

さて、今号では、当法人の昨年度の実績を中心に報告させていただきます。



事務所移転のお知らせ

以前よりお知らせしている通り、当法人は、平成29年10月1日より、新事業所へ移転します。それに伴い、事業内容にも一部変更がございます。変更点等、今後のスケジュールは以下の通りです。

① 移転スケジュール

- 9月29日(金) 17時まで、現在の事業所で営業いたします。
- 9月30日(土)と10月1日(日)は休みとなります。
- 10月2日(月) 9時より、新事業所で業務を開始いたします。**

9/29(金)	30(土)	10/1(日)	2(月)
～17:00 現事業所	休み	休み	9:00～ 新事業所

② 新事業所での事業内容

(1) 相談支援事業は

「一般社団法人 秦野市障害者地域生活支援推進機構」に、事業を移管いたします。

(2) 成年後見事業は

「特定非営利活動法人 総合福祉サポートセンターはだの」のまま、移転先で継続して事業を行います。



発行 NPO法人総合福祉サポートセンターはだの
発行責任者 山口浩

秦野市緑町16-3 秦野市保健福祉センター内

☎0463-80-2940 FAX 0463-73-5039

e-mail: npo-hadano@jupiter.ocn.ne.jp

<http://www.npo-hadano.jp>



③ 新事業所 所在地

〒257-0035 秦野市本町2丁目7番25号

電話①(相談支援事業) 0463-80-3294

電話②(成年後見事業) 0463-80-2940

FAX(共通) 0463-73-5039

*電話、FAX番号に変更はございません。

④ 運営時間(10月2日より次の通り変更致します。)

月～土曜日(国民の休日、年末年始を除く)

9:00～17:30

(相談受付は9:30～17:30です)

*尚、現在新事業所建設中のため、上記内容は変更になる場合があります。

*成年後見事業の運営は月～金曜日です。

【アクセス】

- 小田急線「秦野駅北口」より徒歩8分程度
- 駐車場あり「12台分」



出展: Google マップ



新職員紹介

NPO法人総合福祉サポートセンターはだの 成年後見班 小林春江

成年後見班に新しく入りました小林春江です。サポートセンターはだので働き始め早4カ月が経ち、毎日があっという間に過ぎていきます。

私は以前、秦野市社会福祉協議会のヘルパー事業所で働いていたことがあります。この時期に高野室長にお会いしたことがあり「サポートセンターはだのはすごい！秦野市の障害者支援は整備されていて素晴らしい！」と感激したことを思い出します。

その後、まさか私が成年後見の仕事をする事になるとは思ってもみないことでしたので、サポートセンターはだので働いていることが不思議に思う瞬間があります。転職活動を始めてからトントン拍子で採用をしていただき、ふと気づいたらサポートセンターはだので仕事をしている自分がありました。冷静に振り返ると、とてもありがたいことなのだと思います。

後見人の立場として、何ができて何ができないのか、どのような制度の下、業務にあたるのかなどを先輩方から教わりながら仕事をさせていただいています。

先日、前理事長香坂さんより法人設立の経緯などを教えていただける研修会がありました。法人後見ならではの「継続性」と、ご家族の方が安心できる「親亡き後の支援」について伝授いただきました。私も微力ながら努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

- 平成29年5月22日に当法人の定期総会を無事に開催することができました。2～3ページ目に簡単な実績報告を掲載しました。詳しい内容については、お気軽にお問合せください。
- 現在、秦野市内の相談支援事業所(16事業所)を訪問しています。6月は4事業所を訪問しました。7月以降も順次訪問していきます。訪問時に各事業所と意見交換を行いながら、当法人としてより良いサービス提供が行えるよう推進してまいります。また、10月より体制強化を図ることで、今後も頑張ります。
- 賛助会員(一口2,000円)を募集しております。現在、多くの皆様に二口以上のご協力をいただいております。職員一同、心より御礼申し上げます。賛助会員につきましては、総務:小池または奥池までお問い合わせください。

編集後記

サポートセンターはだのが保健福祉センター2階に開設して10年。事業所から一歩出ると、春には隣の南中学校の満開の桜が、大きな窓から1枚の絵画のように見えて、ため息が出るほど美しかったです。事業所移転で、それが見られなくなるのは少し寂しいなあ...



相談支援事業

平成 28 年度「なんでも相談室」では、実人数で 326 名の方が相談利用されました（うち児童が 17 名）。面談や訪問、電話等の相談方法は約 2,400 件になり、その相談の内容につきましては、下の表のとおりとなっております。お一人おひとり、表面に現れている相談事は一つであっても、実は複数の問題が背景にあったり、絡み合ったりしており、その結果が 3,582 件という数字となっております。

相談内容の割合としましては、「福祉サービス利用」が例年同様半数近くを占めています。相談者の加齢に伴い、介護保険事業所と連携しながら福祉サービスを計画していく傾向が見られてきております。

内容	住居	日常生活	家計・経済	就労	保育・療育・教育	健康・医療
件数	52	280	204	243	42	468

内容	家族関係 人間関係	社会参加 余暇活動	福祉サービス利用	障害や病状 理解	精神的不安	ボランティア
件数	228	80	1,454	53	289	33

内容	自立生活 地域生活移行	権利擁護	子育て	その他	合計
件数	9	85	32	30	3,582

成年後見事業

平成 28 年度も専任の職員 2 名（常勤 1 名、非常勤 1 名）で受任者への対応を行いました。昨年度総活動数の 85% が身上監護（面会、関係機関との連携、契約等諸手続き等）にあたる活動となりました。当法人の成年後見事業の信条である「フットワークの良い支援」の実践を行うことが出来ました。全体としては昨年度と比較して活動数が 505 件増加しました。

それに伴い、必要に応じて、総務職員に事務を補助してもらい、今年度からは新たに成年後見担当職員を増員することが出来たこともあり、家庭裁判所への報告も滞りなく終わることが出来ました。

受任者への支援活動状況については、被後見人の方の平均年齢が 46 歳を超えていることから、ご家族も高齢になるなど、家族支援が必要なケースが増加し、関係機関との連携などの支援も増えてきています。

今後も被後見人を取り巻くネットワークを大切にしながら、支援をしていきたいと思っております。

尚、成年後見相談への対応状況は秦野市成年後見利用支援センターの役割が周知されたこともあり、当法人への制度全般に関する相談は大幅減となっております。

今年度においては、新しく職員を雇用し、常勤 2 名、非常勤 1 名の体制となりました。

今以上に身上監護と地域支援に力を入れつつ、受任者の増加につなげられるよう、職員の育成にも力を入れていきたいと考えています。

	活動内容	活動件数
受任	1. 身上監護	3,806
	2. 財産管理	529
	3. 専門職等との連携	31
申立て	4. 申立に関わる相談、支援	11
相談	5. 成年後見に関する相談（受任に関する相談含む）	58
普及啓発	6. ミニ講座等	36
	計	4,471

防災支援事業

当法人の防災支援事業は、当初は啓発を目的として講演会等を行ってまいりました。平成 23 年の東日本大震災以降、秦野市主催の会議でも防災が取り上げられるようになったこともあり、今後は秦野市障害者支援懇話会くらし安心部門と連携及び支援することで、防災支援事業を発展的解散としました。

～平成 28 年度会計報告～

平成28年度 収支決算書

特定非営利活動法人 総合福祉サポートセンターはだの (H28.4.1～H29.3.31)

単位・円

科目	28年度補正予算	28年度決算	差異	摘要	
収入	業務委託金収入	16,000,000	16,000,000	0	秦野市障害者等相談支援事業委託業務
	事業収入	10,079,136	11,263,355	1,184,219	計画相談・成年後見報酬・障害支援区分認定調査等
	補助事業等収入	2,494,000	2,494,000	0	
	会費収入	364,280	369,280	5,000	
	雑収入	79,968	267,286	187,318	利息 退職金共済補助金 寄附金
	合計	29,017,384	30,393,921	1,376,537	
支出	人件費支出	23,851,042	21,580,708	△ 2,270,334	
	事務費支出	4,551,822	5,945,260	1,393,438	
	当期収支差額	0	2,867,953	2,867,953	
	合計	28,402,864	30,393,921	1,991,057	

全員集合！ サポートセンターはだの 職員です。よろしくお願ひします。

